

第85回日本循環器学会学術集会（JCS2021）の 女性座長比率について

ダイバーシティ推進委員会の女性循環器医コンソーシアム（JCS-JJC）部会では、女性の座長登用を推進するために、女性会員の座長候補者リストを作成しております。2021年3月に開催された第85回日本循環器学会学術集会（JCS2021）におきましても、会長校から女性座長登用推進にこれまで以上に積極的なご助力を賜りました。

その結果、女性座長比率は一般演題 38.8%、一般演題以外のオンデマンド 17.2%、ライブセッション 10.4%、全体では 25.2%と、学術集会で初めて 20% 超の比率となりました。

会長の齋藤 能彦教授（奈良県立医科大学 循環器内科学教室）、事務局長の尾上 健児先生をはじめとする JCS2021 関係者の皆様におかれましては、ご高配賜り厚く御礼申し上げます。

今年度は、第86回日本循環器学会学術集会（JCS2022）や各地方会での座長登用の活性化を目指し、会員へのアンケートをもとに、女性のみならず若手男性医師（45歳以下）を対象とした座長候補者リストを完成いたしました。会員の皆様には本プロジェクトにご協力いただき、誠にありがとうございました。またこの活動のサポートとして、「初めての学会座長の手引き」を作成し、広く会員の先生方に活用いただき好評を得ました。

ダイバーシティ推進委員会では、今後も日本循環器学会の活性化を目指した多様性の推進プロジェクトの一環として、若手医師の登用もまた推進してまいります。若手・女性の先生方におかれましては、座長の依頼はじめ、一連の普及活動へのより積極的なご参加・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ダイバーシティ推進委員会	委員長	塚田(哲翁) 弥生
女性循環器医(JCS-JJC)部会	部会長	坂東 泰子
U-40部会	部会長	谷口 達典